

安全データシート

1/9

1. 製品及び会社情報

製品名: レオナ™ FG170, FG171, FG172, FG173, FL195
SDS 整理番号 : LE-J003C-07
会社名: 旭化成ケミカルズ株式会社
住所: 〒101-8101 東京都千代田区神田神保町一丁目105番地 神保町三井ビル
担当部門: 機能樹脂事業部 機能樹脂開発・マーケティング推進部
電話番号: レオナ樹脂営業部(東京) 03-3296-3387
自動車材料グループ(名古屋) 052-212-2133
FAX 番号: レオナ樹脂営業部(東京) 03-3296-3472
自動車材料グループ(名古屋) 052-212-2229
緊急連絡先: 機能樹脂開発・マーケティング推進部 レオナ樹脂技術部
電話番号: 044-271-2417 平日 9:00-18:00(JST)
FAX 番号: 044-271-2166

推奨用途及び使用上の制限:

〈推奨用途〉 自動車材料、家電材料、電気・電子部品、工業材料等の用途のプラスチック原料

〈使用上の制限〉以下の用途には使用しないで下さい。

- ・体内、粘膜、体液、血液、薬液等に触れる医療容器・包装・用具・部品
- ・食品容器・包装・器具・部品、飲料水等に触れる器具・部品
- ・口に触れる玩具、飲料水に触れる玩具

2. 危険有害性の要約

【GHS 分類】

健康に対する有害性 発がん性 区分 2

環境に対する有害性 分類できない

注:本分類は「3. 組成及び成分情報」に記載の着色剤成分全てが、労働安全衛生法で示された通知対象物質の対象となる範囲を含む事を想定して判定したものです。

【GHS ラベル要素】

絵表示またはシンボル



注意喚起語

警告

重要危険有害情報

発がんのおそれの疑い

安全データシート

2/9

特有の危険有害情報

樹脂ペレットである為、着火すると燃える。
溶融状態でガスを発生する。

【注意書き】

安全予防策

- ・全ての安全注意を読み、理解し、予防対策をするまで取り扱わないこと。
- ・本製品を使用する時に、その場で飲食または喫煙をしないこと。
- ・必要に応じて保護手袋、保護眼鏡を着用すること。特に溶融した樹脂を取り扱う際は火傷防止を図ること。
- ・押出し加工時にはガスが発生するので、有効な局所排気装置等を設置すること。

3. 組成、成分情報

製品名: レオナ™ FG170, FG171, FG172, FG173

単一製品・混合物の区別: 混合物

化学名(主成分): ポリヘキサメチレンアジパミド

別名(主成分): ポリアミド66

成分及び含有量:

製品名	成分	含有量(%)	官報公示整理番号 (化審法／安衛法)	CAS. No.
FG170, FG171, FG172, FG173	ポリアミド66	35~60	(7)-382	32131-17-2
	ガラス纖維	10~35	対象外	65997-17-3
	臭素化ポリスチレン	15~25	(6)-1579	88497-56-7
	三酸化アンチモン	3~10	(1)-543	1309-64-4
	着色剤	0~10	登録済み	非公開
	カーボンブラック	(0~3%)	対象外	1333-86-4
	酸化鉄化合物	(0~5%)	1-357	1309-37-1 等(非公開)
	酸化チタン(IV)化合物	(0~10%)	1-558	非公開
	シリカ	(0~1%)	1-357	非公開
	銅化合物	(0~1%)	登録済み	非公開
	複合酸化物系着色剤	(0~7%)	登録済み	非公開
	その他着色剤	(0~7%)	登録済み	非公開
	その他の成分	0~ 3	登録済み	非公開
	計	100		

* ()内は着色剤の内数

製品名: レオナ™ FL195

単一製品・混合物の区別: 混合物

化学名(主成分): ポリヘキサメチレンアジパミド／ポリヘキサメチレンイソフタルアミド共重合体

別名(主成分): ポリアミド66/6 I

成分及び含有量:

製品名	成分	含有量(%)	官報公示整理番号 (化審法／安衛法)	CAS. No.

安全データシート

3/9

FL195	ポリアミド66/6 I	25~40	(7)-2538	26353-66-2
	ガラス纖維	10~35	対象外	65997-17-3
	臭素化ポリスチレン	15~25	(6)-1579	88497-56-7
	三酸化アンチモン	3~10	(1)-543	1309-64-4
	着色剤	0~10	登録済み	非公開
	カーボンブラック	(0~3%)	対象外	1333-86-4
	酸化鉄化合物	(0~5%)	1-357	1309-37-1 等(非公開)
	酸化チタン(IV)化合物	(0~10%)	1-558	非公開
	シリカ	(0~1%)	1-357	非公開
	銅化合物	(0~1%)	登録済み	非公開
	複合酸化物系着色剤	(0~7%)	登録済み	非公開
	その他着色剤	(0~7%)	登録済み	非公開
その他の成分		0~ 3	登録済み	非公開
計		100		

* ()内は着色剤の内数

本製品を構成するすべての原材料は、ENCS/ISHL(日本)、TSCA(米国)、EINECS/ELINCS(欧州)、IECSC(中国)のインベントリーに掲載されています。
色番号によっては、日本、米国及び欧州を除くいくつかの国において、登録されていない染顔料を用いている場合があります。

4. 応急措置

- 吸入した場合: 溶融物のガスを吸って、気分が悪くなった場合は、新鮮な空気のある場所に移し回復を待つ。回復しない時は医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合: 溶融物の場合は、ただちに清浄な水で冷やす。
皮膚上の固まった樹脂を無理に剥がさない。
火傷があれば医師の診断を受ける。
- 目に入った場合: 溶融物の場合は、ただちに清浄な水で15分以上冷やすと同時に洗浄し、コンタクトレンズをしていれば固着していない限り取り外し、医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合: 直ちに吐かせる。もし多量に飲み込んだら、医師の診断を受ける。
- 応急措置をする者の保護: 溶融ガスの換気と保護具の着用。

5. 火災時の措置

- 消火剤: 水、泡消火剤(エアフォーム)、粉末消火剤
- 火災時の特有危険有害性: 火災時には、有毒なガス(CO及び微量のHCN、NH₃等)や窒息性のガス(CO₂)が発生する恐れがある。
- 特定の消火方法: 消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。
- 消防を行う者の保護: 保護具を着用し、風上から消火する。
ガス発生が多い場合はガスマスクを着用する。

安全データシート

4/9

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項

保護具及び緊急時措置: 道路や床にこぼした場合は、転倒の恐れがあるので、集めて処分する。

環境に対する注意事項: 漏出した製品を河川や下水に流出させないようにする。

回収、中和、封じ込め、

及び洗浄方法: 電気掃除機、ほうき等で掃き集めて回収する。

二次災害の防止策: 廃棄は、13. 廃棄上の注意に従い行う。

7. 取扱い及び保管上の注意

取り扱い

技術的対策

溶融樹脂を取り扱う時は、保護眼鏡、耐熱手袋、長袖の作業着を着用し、火傷の防止に努めること。また、溶融樹脂からは、ガスが発生する為に吸入を避ける様に勤めること。

局所排気・全体排気

押出機、或いは射出成型機等を用いて溶融樹脂を取り扱う時には、ガスが発生する為、発生個所では、有効な局所排気を実施すること。また、上記作業を実施する、建屋内、あるいは作業スペースでは、換気扇等による全体換気に努めること。

注意事項

ペレット状の本樹脂は、常温では、引火、爆発のおそれは無いが、いったん火災が発生すると火勢拡大が速く、消火活動が困難になる。このため作業場の整理整頓に努め、火気をみだりに使用しない。

- (1)裸火を用いる暖房(ストーブ等、焚き火等)の禁止。
- (2)マッチ、ライター等の携行及び喫煙の禁止
- (3)静電気発生を防止の為、使用する機器等(押出機、成型機、空送ライン、バグフィルター等)への接地(アース)を実施すること。
- (4)使用する工具はスパーク等火花の発生しない安全工具とする。
- (5)その他、着火源となるものの発生及び接近を避ける。

安全取り扱い注意事項

- (1)本製品を使用する時に、飲食をしない。
- (2)床上にこぼれた場合は、常に清掃して取除く。放置すると足もとが滑って転倒を招く恐れがある。
- (3)正しい作業手順を定め遵守する。

保管

- 以下の様に適切な保管条件を満足する場所で保管すること
- (1)直射日光の当たらぬ場所に保管する
 - (2)高温多湿な場所を避けて保管する。
 - (3)発火源から離れた場所で保管する。

静電気災害を防止する対策を取る

安全な容器包装材料

吸湿性があるので、開封後の保管容器は密封可能なものを用いる。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策: 乾燥及び溶融時に発生するガスが換気可能な排気装置を使用する。

管理濃度: 設定されてない。

安全データシート

5/9

許容濃度

日本産業衛生学会(2012年版):

第三種粉塵としての許容濃度	総粉塵	8mg/m ³
	吸入性粉塵	2mg/m ³

ACGIH(2012年版): 一般粉塵としての許容濃度(TWA)

INHALABLE PARTICULATE	10mg/m ³
RESPIRABLE PARTICULATE	3mg/m ³

保護具

呼吸器の保護具:	必要に応じて、防塵マスクの着用が望ましい。
手の保護具:	必要に応じて、保護手袋の着用が望ましい
目の保護具:	必要に応じて、保護眼鏡の着用が望ましい
皮膚及び身体の保護具:	必要に応じて、保護衣の着用が望ましい

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態:	固体
形状:	ペレット状
色:	着色品
臭い:	微かに特有の臭気がある。
pH:	測定項目に該当しない。
融点:	255~270°C(レオナ FG170, FG171, FG172, FG173) 220~245°C(レオナ FL195)
分解温度:	300°C以上
引火点:	400°C以上
発火点:	400°C以上
爆発限界:	ペレット状では爆発しないが、粉塵は爆発性あり。
比重(23°C):	1.3~1.9
溶解性	
水:	不溶
その他の溶媒:	強酸に溶解

10. 安定性及び反応性

安定性:	常温で安定。
反応性:	自己反応性無し。
避けるべき条件:	溶融状態で長時間放置しない。
避けるべき物質:	強酸に触れないようにする。
危険有害分解生成物:	焼却時には、有毒なガス(CO及び微量のHCN、NH ₃ 等)や窒息性のガス(CO ₂)が発生する恐れがある。

安全データシート

6/9

11. 有害性情報

項目名	樹脂成分 右記以外の 添加剤	三酸化アン チモン	カーボンプラ ック	酸化鉄	酸化チタン (IV)	複合酸化物	組成物
含有量 (%)	≥ 90	≤10	≤3	≤ 5	≤ 10	≤ 7	合計 100
急性毒性 (経口)	分類できない	分類できない	区分外	分類できない	区分外	分類できない	分類できない
急性毒性 (経皮)	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	区分外	分類できない	分類できない
急性毒性 (吸入)	分類できない	分類対象外	分類対象外	分類対象外	分類対象外	分類できない	分類できない
皮膚腐食性 /刺激性	分類できない	分類できない	区分外	区分 2	区分外	分類できない	分類できない (注 1)
眼に対する 重篤な 損傷性/ 眼刺激性	分類できない	区分外	区分外	区分 1	区分 2B	分類できない	分類できない (注 2)
呼吸器 感作性	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
皮膚 感作性	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	区分外	分類できない	分類できない
生殖細胞 変異原性	分類できない	区分外	分類できない	分類できない	区分外	分類できない	分類できない
発がん性	分類できない	区分 2	分類できない	区分外	区分 2	分類できない	区分 2 (注 3)
生殖毒性	分類できない	区分外	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
標的臓器 /全身毒性 (単回暴露)	分類できない	分類できない	分類できない	区分 3 (気道刺激性)	分類できない	分類できない	分類できない (注 4)
標的臓器 /全身毒性 (反復暴露)	分類できない	分類できない	分類できない	区分 1 (呼吸器系)	分類できない	分類できない	分類できない (注 4)
吸引性呼吸 器有害性	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類対象外

※有害性情報は独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)の GHS 分類対象物質一覧(平成 24 年 3 月 16 日)と下記に基づく。

■三酸化アンチモン

EU CLP 規則((EC)-No.1272/2008) Annex VI table-3.1 に基づく。

■カーボンブラック

NITE の分類においては、発がん性「区分 2」、標的臓器/全身暴露(反復暴露)「区分 1(肺)」と分類されているが、EU CLP 分類のための反復投与毒性、発がん性、生殖発生毒性等の試験結果に基づき、「危険有害性非該当」となっていることから、分類で

安全データシート

7/9

きないとした。

■酸化チタン(IV)

発がん性については、IARC で超微粒酸化チタン(粒径 10-50nm)を以ってグループ 2B に分類されている(IARC Monograph Vol.93, in preparation)ことより区分2とした。なお、ラットおよびマウスを用いた 103 週間の混餌投与試験では、両動物種とも本物質に発がん性はないと結論されている(NTP TR No.97(1979))が、ラットおよびマウスを用いた超微粒酸化チタンの吸入ばく露により、マウスで認められなかった肺腫瘍の発生増加がラットでは認められたとしている(PATTY (5th, 2001))。一方、ヒトの場合には複数の症例報告あるいは疫学調査の結果により、本物質との関連を示す明確な証拠は示されていない(IARC 47 (1989)、ACGIH (2001)、HSDB (2005))。

■複合酸化物

複合酸化物の中には、アンチモン、クロム、コバルト、鉄、ニッケル等を含む場合がある。しかし、複合酸化物は、それぞれ固有の安定且つ均一な結晶構造を有する無機化合物であり、その構成成分である個々の化学種(酸化物)の有する化学的、物理的、生理学的性質を完全に失っているとの、複合酸化物顔料工業会の見解に基づき、複合酸化物としての危険有害性のデータは不足していることから、分類できないとした。

■組成物

注 1 分類された化学物質は、製品(樹脂ペレット)中に含有されており、当該物質がブリードアウトなどにより製品から分離し、皮膚に直接接触する恐れが無い為、分類できないとした。

注 2 分類された化学物質は、製品(樹脂ペレット)中に含有されており、当該物質がブリードアウトなどにより製品から分離して、粉塵、ガス、ミスト、蒸気として眼と接触する恐れが無い為、分類できないとした。

注 3 混合物の判定理論に基づき、「区分 2」とした。

注 4 分類された化学物質は、製品(樹脂ペレット)中に含有されており、当該物質がブリードアウトなどにより製品から分離して、粉塵、ガス、ミスト、蒸気として吸入される恐れが無い為、分類できないとした。

12. 環境影響情報

項目名	樹脂成分 右記以外の 添加剤	三酸化アン チモン	カーボンブラ ック	酸化鉄	酸化チタン (IV)	複合酸化物	組成物
含有量 (%)	≥ 90	≤10	≤3	≤ 5	≤ 10	≤ 7	合計 100
水生環境 有害性 (急性)	分類できない	分類できない	区分外	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
水生環境 有害性 (慢性)	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない

※環境影響情報は独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)の GHS 分類対象物質一覧(平成 24 年 3 月 16 日)と下記に基づく。

■三酸化アンチモン

EU CLP 規則((EC)-No.1272/2008) Annex VI table-3.1 に基づく。

■複合酸化物

複合酸化物の中には、アンチモン、クロム、コバルト、鉄、ニッケル等を含む場合がある。しかし、複合酸化物は、それぞれ固有の安定且つ均一な結晶構造を有する無機化合物であり、その構成成分である個々の化学種(酸化物)の有する化学的、物理的、生理学的性質を完全に失っているとの、複合酸化物顔料工業会の見解に基づき、複合酸化物は不溶性であることから、分類できないとした。

■組成物

混合物の判定理論に基づき、「分類できない」とした。

13. 廃棄上の注意

内容物／容器は、関係法規ならびに地方自治体の基準に従い廃棄すること。

埋立てるときは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従って、公認の産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、その団体に委託して処理する。

焼却する時は、焼却設備を用いて、大気汚染防止法等の諸法令に適合した処理を施して焼却する。

安全データシート

8/9

尚、焼却時には、有毒なガス(CO及び微量のHCN、NH₃等)や窒息性のガス(CO₂)が発生する恐れがある。

14. 輸送上の注意

国際規制

IMDG(国際海上危険物規則)コード:

ハザードクラス 該当しない、Packing Group 該当しない。

ICAO-TI(国際民間航空機関技術指針)、IATA-DGR(国際航空運送協会危険物規則):

ハザードクラス 該当しない、Packing Group 該当しない。

国連番号: 分類基準には該当しない。

国連分類: 分類基準には該当しない。

海洋汚染物質: 分類基準には該当しない。

国内規制: 輸送に関する法規制には該当しない。

輸送の特定の安全対策及び条件:

梱包袋が破れないように、水濡れや乱暴な取り扱いをさける。

荷くずれ防止を確実におこなう。

道路や床にこぼした場合、滑るので速やかに回収・清掃する。

排水系に漏出した場合、河川や海の環境に影響を与えるので必ず回収処理する。

15. 適用法令

特定化学物質の環境への排出量の把握および管理の促進に関する法律(PRTR法) :

「アンチモン及びその化合物」を含む。

グレード、色番により対象物質である「ニッケル化合物」を閾値以上含有するものがある。

対象となるグレード色番、及び化学物質番号については、本 SDS に添付する「レオナ樹脂 化管法通知 対象物質含有量一覧表」を参照すること。

労働安全衛生法(第57条 第1項、関係省令) 表示の対象となる物質 :

グレード、色番により対象物質である「コバルト及びその無機化合物」を閾値以上含有するものがある。

対象となるグレード色番、及び化学物質番号については、本 SDS に添付する「レオナ樹脂 安衛法表示 対象物質含有量一覧表」を参照すること。

労働安全衛生法(第57条の2 第1項、関係省令) 文書交付の対象となる物質(通知対象物質) :

労働安全衛生施行令第18条の2別表第9の38号「アンチモン及びその化合物」を含む。

労働安全衛生施行令第18条の2別表第9の対象物質に於いて着色剤中に以下の物質を閾値以上含有する場合がある。

38号「アンチモン及びその化合物」

130号「カーボンブラック」

142号「クロム及びその化合物」

172号「コバルト及びその化合物」

191号「酸化チタン(IV)」

安全データシート

9/9

- 192 号「酸化鉄」
- 312 号「シリカ」
- 379 号「銅及びその化合物」
- 418 号「ニッケル及びその化合物」

毒毒物及び劇物取締法 : 該当しない。

消防法:該当しない。

廃棄物の処理及び清掃に関する法律: 産業廃棄物(廃プラ)に該当する。

16. その他情報

本安全データシート(SDS)は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、SDS 中の注意事項は通常の取扱いを対象にしたもので、製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途、使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用して下さい。

食品と接触する用途、及び人体組織や体内流体(血液等)と接触する用途には、ご使用にならないで下さい。
また、当社は SDS 記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。

引用文献

- 1) 日本産業衛生学会誌「許容濃度の勧告」
- 2) ACGIH(米国産業衛生専門家会議), "Guide to Occupational Exposure Value"
- 3) 化学品の分類および表示に関する世界調和システム(GHS)危険有害性分類事業公表データ
<http://www.safe.nite.go.jp/ghs/index.html> (製品評価技術基盤機構(NITE))
- 4) 複合酸化物系顔料の分類と法規制(複合酸化物顔料工業会 HP)

レオナ樹脂 化管法通知対象物質含有量一覧表

旭化成ケミカルズ株式会社
機能樹脂事業部

下記記載のグレード色番に於きましては「特定化学物質の環境への排出量の把握および管理の促進に関する法律(化管法:PRTR法)」に定められた物質を以下の閾値量以上含有します。

指定化学物質(平成20年11月21日公布)			1-31	1-87	1-132	1-309	1-453	
対象物質名			アンチモン及びその化合物	クロム及び三価クロム化合物	コバルト及びその化合物	ニッケル化合物	モリブデン及びその化合物	
閾値			Sbとして 1%	Crとして 1%	Coとして 1%	Niとして 0.1%	Moとして 1%	追記日
グレード	色番	SDS番号						
FG170	A111370	LE-J003C	7.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	A217760	LE-J003C	7.3	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	A22386B	LE-J003C	4.0	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	A22826B	LE-J003C	4.0	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	A23603D	LE-J003C	2.5	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	A236750	LE-J003C	7.3	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	A334330	LE-J003C	2.5	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	A410120	LE-J003C	7.4	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	A418410	LE-J003C	4.2	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	A438280	LE-J003C	7.3	—	—	—	—	2012/3/14
FG170	A443050	LE-J003C	4.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	A443450	LE-J003C	4.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	A445750	LE-J003C	7.3	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	A550330	LE-J003C	7.3	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	A550330	LE-J003C	7.3	—	—	—	—	2012/3/14
FG170	A559320	LE-J003C	4.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	A817810	LE-J003C	4.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	A818110	LE-J003C	7.2	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	A995000	LE-J003C	4.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	A995600	LE-J003C	7.3	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	A995600	LE-J003C	7.4	—	—	—	—	2010/2/10
FG170	B3350	LE-J003C	7.4	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	B3365	LE-J003C	4.2	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	B33B7	LE-J003C	7.4	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M161130	LE-J003C	4.0	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M161330	LE-J003C	4.0	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M161630	LE-J003C	7.4	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M161930	LE-J003C	7.4	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M169020	LE-J003C	4.2	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M212030	LE-J003C	7.4	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M22028B	LE-J003C	4.0	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M220490	LE-J003C	4.2	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M220580	LE-J003C	4.2	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M221990	LE-J003C	7.4	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M223390	LE-J003C	7.4	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M224180	LE-J003C	4.2	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M224250	LE-J003C	2.5	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M224790	LE-J003C	7.3	—	—	—	—	2012/3/14
FG170	M224890	LE-J003C	7.3	—	—	—	—	2010/2/10
FG170	M225250	LE-J003C	2.5	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M225890	LE-J003C	7.4	—	—	—	—	2010/2/10
FG170	M226470	LE-J003C	4.2	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M226690	LE-J003C	7.3	—	—	—	—	2012/3/14

指定化学物質(平成20年11月21日公布)			1-31	1-87	1-132	1-309	1-453	
対象物質名			アンチモン及びその化合物	クロム及び三価クロム化合物	コバルト及びその化合物	ニッケル化合物	モリブデン及びその化合物	
閾値			Sbとして 1%	Crとして 1%	Coとして 1%	Niとして 0.1%	Moとして 1%	追記日
グレード	色番	SDS番号						
FG170	M227090	LE-J003C	7.5	—	—	—	—	2010/2/10
FG170	M229580	LE-J003C	4.2	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M237020	LE-J003C	7.3	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M237520	LE-J003C	7.3	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M238610	LE-J003C	2.5	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M250830	LE-J003C	4.2	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M254030	LE-J003C	7.4	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M259410	LE-J003C	2.5	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M269030	LE-J003C	4.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M282310	LE-J003C	7.3	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M322830	LE-J003C	4.2	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M323730	LE-J003C	4.2	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M323920	LE-J003C	4.2	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M324630	LE-J003C	7.3	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M334630	LE-J003C	4.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M351340	LE-J003C	4.2	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M351540	LE-J003C	7.4	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M351710	LE-J003C	2.5	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M381210	LE-J003C	4.2	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M410520	LE-J003C	4.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M411120	LE-J003C	4.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M411320	LE-J003C	4.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M425320	LE-J003C	2.5	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M428110	LE-J003C	4.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M428410	LE-J003C	4.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M429610	LE-J003C	7.3	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M446040	LE-J003C	4.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M446140	LE-J003C	4.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M459310	LE-J003C	4.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M459710	LE-J003C	4.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M459910	LE-J003C	7.3	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M521230	LE-J003C	4.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M539140	LE-J003C	4.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M552220	LE-J003C	4.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M552720	LE-J003C	4.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M553710	LE-J003C	2.5	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M554120	LE-J003C	4.2	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M554820	LE-J003C	4.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M555020	LE-J003C	4.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M555520	LE-J003C	7.3	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M568510	LE-J003C	4.2	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M568610	LE-J003C	4.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M623610	LE-J003C	4.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M624010	LE-J003C	4.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M624110	LE-J003C	7.3	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M651910	LE-J003C	4.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M652510	LE-J003C	7.3	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M660740	LE-J003C	4.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M660840	LE-J003C	4.2	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M661040	LE-J003C	7.3	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M664330	LE-J003C	4.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M664530	LE-J003C	4.2	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M665120	LE-J003C	2.5	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M666230	LE-J003C	4.2	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M667830	LE-J003C	4.1	—	—	—	—	2009/7/1

指定化学物質(平成20年11月21日公布)			1-31	1-87	1-132	1-309	1-453	
対象物質名			アンチモン及びその化合物	クロム及び三価クロム化合物	コバルト及びその化合物	ニッケル化合物	モリブデン及びその化合物	
閾値			Sbとして 1%	Crとして 1%	Coとして 1%	Niとして 0.1%	Moとして 1%	追記日
グレード	色番	SDS番号						
FG170	M668430	LE-J003C	4.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M670510	LE-J003C	7.3	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M720230	LE-J003C	7.3	—	—	—	—	2010/3/1
FG170	M729720	LE-J003C	4.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M761620	LE-J003C	4.1	—	—	0.13	—	2009/7/1
FG170	M767810	LE-J003C	2.5	—	—	0.10	—	2009/7/1
FG170	M770760	LE-J003C	4.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M770960	LE-J003C	4.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M771060	LE-J003C	7.2	—	—	0.35	—	2009/7/1
FG170	M772150	LE-J003C	4.1	—	—	0.26	—	2009/7/1
FG170	M778620	LE-J003C	2.4	—	—	0.32	—	2009/7/1
FG170	M779350	LE-J003C	4.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M782110	LE-J003C	4.1	—	—	0.22	—	2009/7/1
FG170	M824220	LE-J003C	4.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M824820	LE-J003C	7.3	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M824920	LE-J003C	7.4	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M825120	LE-J003C	7.3	—	—	—	—	2010/2/10
FG170	M829010	LE-J003C	2.4	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M829810	LE-J003C	4.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M836710	LE-J003C	2.5	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M881560	LE-J003C	4.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M884520	LE-J003C	2.5	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M885260	LE-J003C	4.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M885960	LE-J003C	4.2	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M887660	LE-J003C	4.2	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M887860	LE-J003C	4.2	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M893210	LE-J003C	4.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M893310	LE-J003C	4.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M893510	LE-J003C	7.3	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M926010	LE-J003C	4.2	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M926110	LE-J003C	4.2	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M992910	LE-J003C	4.0	—	—	—	—	2009/7/1
FG170	M993310	LE-J003C	4.2	—	—	—	—	2009/7/1
FG171	A332660	LE-J003C	2.7	—	—	—	—	2009/7/1
FG171	A339150	LE-J003C	2.7	—	—	—	—	2009/7/1
FG171	A888740	LE-J003C	2.7	—	—	—	—	2009/7/1
FG171	B3315	LE-J003C	2.2	—	—	—	—	2009/7/1
FG171	B33A1	LE-J003C	2.7	—	—	—	—	2009/7/1
FG171	M211330	LE-J003C	2.7	—	—	—	—	2009/7/1
FG171	M211430	LE-J003C	2.7	—	—	—	—	2009/7/1
FG171	M260140	LE-J003C	2.7	—	—	—	—	2009/7/1
FG171	M260530	LE-J003C	2.5	—	—	—	—	2009/7/1
FG171	M267830	LE-J003C	2.7	—	—	—	—	2009/7/1
FG171	M268030	LE-J003C	2.7	—	—	—	—	2009/7/1
FG171	M268930	LE-J003C	2.7	—	—	—	—	2009/7/1
FG171	M324330	LE-J003C	2.7	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	A212260	LE-J003C	4.7	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	A218160	LE-J003C	7.0	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	A218250	LE-J003C	3.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	A227460	LE-J003C	3.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	A236050	LE-J003C	7.0	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	A442550	LE-J003C	3.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	A443150	LE-J003C	7.0	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	A550230	LE-J003C	7.0	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	A660340	LE-J003C	3.9	—	—	—	—	2009/7/1

指定化学物質(平成20年11月21日公布)			1-31	1-87	1-132	1-309	1-453	
対象物質名			アンチモン及びその化合物	クロム及び三価クロム化合物	コバルト及びその化合物	ニッケル化合物	モリブデン及びその化合物	
閾値			Sbとして 1%	Crとして 1%	Coとして 1%	Niとして 0.1%	Moとして 1%	追記日
グレード	色番	SDS番号						
FG172	A661540	LE-J003C	7.0	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	A779520	LE-J003C	7.0	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	A779720	LE-J003C	3.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	A886940	LE-J003C	7.0	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	A887140	LE-J003C	3.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	B3328	LE-J003C	2.2	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	B3352	LE-J003C	7.0	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	B3366	LE-J003C	3.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	B3381	LE-J003C	2.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	B33B5	LE-J003C	7.0	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M124120	LE-J003C	3.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M125120	LE-J003C	3.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M125720	LE-J003C	2.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M126420	LE-J003C	7.0	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M161530	LE-J003C	7.0	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M161830	LE-J003C	7.0	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M166520	LE-J003C	3.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M181910	LE-J003C	3.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M211030	LE-J003C	2.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M212430	LE-J003C	2.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M215920	LE-J003C	2.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M216320	LE-J003C	2.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M216920	LE-J003C	3.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M218220	LE-J003C	3.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M219420	LE-J003C	2.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M219720	LE-J003C	3.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M220190	LE-J003C	2.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M220590	LE-J003C	7.0	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M220780	LE-J003C	3.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M220890	LE-J003C	3.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M221870	LE-J003C	7.0	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M222790	LE-J003C	3.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M222890	LE-J003C	7.0	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M222970	LE-J003C	6.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M222990	LE-J003C	7.0	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M223090	LE-J003C	7.0	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M223190	LE-J003C	7.0	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M223290	LE-J003C	7.0	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M223370	LE-J003C	3.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M224550	LE-J003C	2.3	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M225370	LE-J003C	3.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M225670	LE-J003C	3.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M226170	LE-J003C	3.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M226990	LE-J003C	7.0	—	—	—	—	2010/2/10
FG172	M227170	LE-J003C	3.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M227480	LE-J003C	3.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M228780	LE-J003C	2.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M228880	LE-J003C	2.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M229280	LE-J003C	2.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M237420	LE-J003C	2.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M250630	LE-J003C	3.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M254820	LE-J003C	7.0	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M254830	LE-J003C	3.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M254930	LE-J003C	7.0	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M260240	LE-J003C	7.0	—	—	—	—	2009/7/1

指定化学物質(平成20年11月21日公布)			1-31	1-87	1-132	1-309	1-453	
対象物質名			アンチモン及びその化合物	クロム及び三価クロム化合物	コバルト及びその化合物	ニッケル化合物	モリブデン及びその化合物	
閾値			Sbとして 1%	Crとして 1%	Coとして 1%	Niとして 0.1%	Moとして 1%	追記日
グレード	色番	SDS番号						
FG172	M260340	LE-J003C	7.0	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M260440	LE-J003C	7.0	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M260540	LE-J003C	7.0	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M262440	LE-J003C	7.0	—	—	—	—	2012/3/14
FG172	M265230	LE-J003C	3.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M266930	LE-J003C	3.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M267430	LE-J003C	2.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M267630	LE-J003C	2.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M268830	LE-J003C	2.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M269230	LE-J003C	2.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M269330	LE-J003C	7.0	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M282710	LE-J003C	3.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M320530	LE-J003C	3.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M321130	LE-J003C	3.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M323930	LE-J003C	2.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M328520	LE-J003C	3.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M328620	LE-J003C	3.9	—	—	0.19	—	2009/7/1
FG172	M436310	LE-J003C	3.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M436610	LE-J003C	6.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M442440	LE-J003C	3.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M444940	LE-J003C	7.0	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M446340	LE-J003C	2.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M446540	LE-J003C	7.0	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M446840	LE-J003C	2.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M448430	LE-J003C	7.0	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M449130	LE-J003C	3.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M523530	LE-J003C	3.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M524230	LE-J003C	7.0	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M546010	LE-J003C	7.0	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M555320	LE-J003C	7.0	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M568210	LE-J003C	3.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M568710	LE-J003C	7.0	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M651810	LE-J003C	3.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M652610	LE-J003C	7.0	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M668830	LE-J003C	7.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M732010	LE-J003C	2.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M732110	LE-J003C	7.0	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M771160	LE-J003C	6.9	—	—	0.35	—	2009/7/1
FG172	M771360	LE-J003C	2.9	—	—	0.26	—	2009/7/1
FG172	M778620	LE-J003C	3.8	—	—	0.26	—	2009/7/1
FG172	M779950	LE-J003C	7.0	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M82232B	LE-J003C	3.7	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M82312B	LE-J003C	2.8	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M824320	LE-J003C	7.0	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M82522B	LE-J003C	6.7	—	—	—	—	2010/2/10
FG172	M880860	LE-J003C	3.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M881260	LE-J003C	3.8	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M883260	LE-J003C	3.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M883560	LE-J003C	3.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M883860	LE-J003C	3.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M884160	LE-J003C	3.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M887060	LE-J003C	7.0	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M887260	LE-J003C	6.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M888060	LE-J003C	2.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M888360	LE-J003C	7.0	—	—	—	—	2009/7/1

指定化学物質(平成20年11月21日公布)			1-31	1-87	1-132	1-309	1-453	
対象物質名			アンチモン及びその化合物	クロム及び三価クロム化合物	コバルト及びその化合物	ニッケル化合物	モリブデン及びその化合物	
閾値			Sbとして 1%	Crとして 1%	Coとして 1%	Niとして 0.1%	Moとして 1%	追記日
グレード	色番	SDS番号						
FG172	M888460	LE-J003C	7.0	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M888660	LE-J003C	2.9	—	—	—	—	2009/7/1
FG172	M889560	LE-J003C	7.0	—	—	—	—	2012/3/14
FG173	A111970	LE-J003C	6.0	—	—	—	—	2009/7/1
FG173	A213060	LE-J003C	6.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG173	A225980	LE-J003C	6.2	—	—	—	—	2009/7/1
FG173	A226780	LE-J003C	6.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG173	A418910	LE-J003C	6.2	—	—	—	—	2009/7/1
FG173	A427000	LE-J003C	6.2	—	—	—	—	2009/7/1
FG173	A427200	LE-J003C	6.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG173	A432180	LE-J003C	6.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG173	A432180	LE-J003C	6.1	—	—	—	—	2010/2/10
FG173	A444250	LE-J003C	6.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG173	A520600	LE-J003C	6.2	—	—	—	—	2009/7/1
FG173	A620440	LE-J003C	6.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG173	A620540	LE-J003C	6.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG173	A625530	LE-J003C	6.2	—	—	—	—	2009/7/1
FG173	A653900	LE-J003C	6.2	—	—	—	—	2009/7/1
FG173	A661740	LE-J003C	6.2	—	—	—	—	2009/7/1
FG173	A662240	LE-J003C	6.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG173	A710910	LE-J003C	6.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG173	A770130	LE-J003C	6.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG173	A770130	LE-J003C	6.1	—	—	—	—	2010/2/10
FG173	A770230	LE-J003C	6.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG173	A818310	LE-J003C	6.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG173	A887640	LE-J003C	6.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG173	A887740	LE-J003C	6.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG173	A913600	LE-J003C	6.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG173	A980400	LE-J003C	6.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG173	A980500	LE-J003C	6.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG173	A980600	LE-J003C	6.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG173	A980700	LE-J003C	6.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG173	A995200	LE-J003C	6.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG173	A996200	LE-J003C	6.1	—	—	—	—	2012/3/14
FG173	B3353	LE-J003C	6.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG173	B33B6	LE-J003C	6.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG173	M115440	LE-J003C	6.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG173	M169920	LE-J003C	6.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG173	M211830	LE-J003C	6.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG173	M211930	LE-J003C	6.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG173	M214330	LE-J003C	6.1	—	—	—	—	2010/3/1
FG173	M214930	LE-J003C	6.1	—	—	—	—	2012/3/14
FG173	M220390	LE-J003C	6.2	—	—	—	—	2009/7/1
FG173	M226890	LE-J003C	6.1	—	—	—	—	2010/2/10
FG173	M229180	LE-J003C	6.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG173	M411020	LE-J003C	6.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG173	M429010	LE-J003C	6.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG173	M429410	LE-J003C	6.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG173	M53934B	LE-J003C	6.0	—	—	—	—	2009/7/1
FG173	M539440	LE-J003C	6.2	—	—	—	—	2009/7/1
FG173	M554720	LE-J003C	6.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG173	M567710	LE-J003C	6.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG173	M569110	LE-J003C	6.1	—	—	—	—	2010/2/10
FG173	M652210	LE-J003C	6.1	—	—	—	—	2009/7/1
FG173	M652310	LE-J003C	6.1	—	—	—	—	2009/7/1

レオナ樹脂 安衛法表示対象物質含有量一覧表

旭化成ケミカルズ株式会社
機能樹脂事業部

下記記載のグレード色番に於きましては、「労働安全衛生法第57条第1項の名称等を表示すべき有害物(表示対象物質)」に定められた「コバルト及びその無機化合物(閾値0.1%)」を以下の通り含有します。

JAMP MSDSplus

MSDSplusに関する情報

使用書式	Ver.4.0	
物質リストバージョン	3.000	
GPシートID	9999999999999999	
シート整理番号	LE-JAMPJ003C	
初版	発行日付	2012-05-01
改訂	改訂日付	
	改訂履歴	1

1. 製品情報

製造者会社名	旭化成ケミカルズ株式会社
製品名	レオナ
発行者型番	英字表記 The product name to see the SDS 母国語表記 対象となるグレード名はSDSを参照
	一般商品名 ポリアミド樹脂

2. 発行者会社情報

会社名	英字表記	ASAHI KASEI CHEMICALS CORPORATION
	母国語表記	旭化成ケミカルズ株式会社
会社ID	登録機関ID	
	企業ID	
発行部門	部門名	機能樹脂事業部 機能樹脂開発・マーケティング推進部
	住所	東京都千代田区神田神保町1丁目105番地
	電話番号	03-3296-3387 / 052-212-2133
	FAX番号	03-3296-3472 / 052-212-2229
作成部門	メールアドレス	
	部門名	
	電話番号	
	追加情報	

3. 製品中の管理対象物質情報

製品中の管理対象物質情報に関する宣言	1.本製品は下記の管理対象基準に掲載される管理対象物質を含有します
--------------------	-----------------------------------

注1 製品を構成する物質のうち、対象管理基準の管理対象物質となっている物質が含有されている（意図して添加している）または「なんらかの方法で含有が既知である」
という情報がある場合は「1（または含有時の記号）」と記載しています。
但し「1（または含有時の記号）」の場合でも必ずしも法規制対象とはなりません。用途や使用条件等によりますのでご確認ください。

注2 下記内容について、補足説明がある場合は記載しています。

注3 その他、詳細については「JAMP MSDSplus作成の手引き」及び「JAMP管理対象物質解説書 及びJAMP管理対象物質説明書」をご参照ください。

注4 当社は、本MSDSplusに記載してある事項については十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。

物質名	CAS番号	最大含有率	備考 注2	管理対象基準 注1											
				JP01	JP02	JP03	EU01	EU02	EU03	EU04	EU05	EU06	OT01	IA01	IA02
Diantimony trioxide	1309-64-4	10.0%													D
Nickel compounds [group]	JAMP-SN0027	2.0%	色番により含有の場合あり												
C.I. Pigment Blue 28	1345-16-0	2.0%	色番により含有の場合あり												
C.I. Pigment Green 50	68186-85-6	2.0%	色番により含有の場合あり												D
C.I. Pigment Blue 36	68187-11-1	2.0%	色番により含有の場合あり												D
Antimony nickel titanium oxide yellow	8007-18-9	2.0%	色番により含有の場合あり								1				D
Aniline	62-53-3	0.09%	色番により含有の場合あり												D
Diphenylamine	122-39-4	0.09%	色番により含有の場合あり												D
Nonylphenol ethoxylates [group]	JAMP-SN0064	0.09%	色番により含有の場合あり								1				D

4. 管理対象基準の詳細

管理対象基準名		制定・改訂
JP01	化審法(第一種特定化学物質)	2010-04-01
JP02	安衛法(製造等禁止物質)	2007-09-07
JP03	毒劇法(特定毒物)	2007-08-15
EU01	RoHS指令	2011/65/EC
EU02	ELV指令	2011/37/EC
EU03	CLP [Annex VI Table 3.2 CMR-cat. 1,2]	ECNo 286/2011
EU04	REACH Annex XVII [除 CLP Annex VI Table 3.2 CMR-cat. 1,2]	ECNo 494/2011
EU05	REACH 認可対象候補物質(SVHC)	2011-12-19
EU06	POPs Annex I	2010-08-24
OT01	ESIS PBT [Fulfilled]	2008-10-28
IA01	GADSL	2011 GADSL Version 1.1
IA02	JIG	JIG-101 Ed 4.0